

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-022

PDCA	事務事業名	商工業振興事業	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当	担当	太田	
					内線等	321	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 4. 商工業・サービス業 単位施策： (2) 接続可能な商業の振興 個別施策： ①魅力ある個店づくり					
	根拠法令等	半田市商店街電灯料補助金交付要綱、半田商工会議所事業費補助金交付要綱、半田市商工業振興事業費補助金交付要綱、はんだ商業まつり事業費補助金交付要綱					
	対象・目的	商工業の育成及び発展を促進し、地元産業及び地元商店街の活性化に繋げる。					
	目的を達成するための手段・活動内容	各種商工業団体に対し補助金を交付する。各補助金については、金額及び基準を定める要綱を設置し、それに準じて交付している。また、商店街の電灯料の助成を行うことで利用者の利便性向上につなげ、商店街・発展会がより多くの集客を実現できるように支援する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①商店街電灯料補助対象数	7	7	7	団体	
		②商工業団体補助対象数	10	10	10	団体	
		事業費	7,512	7,758	7,583	千円	
		人件費	4,124	4,372	5,279	千円	
		総事業費	11,636	12,130	12,862	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①街路灯1基あたりの補助額	4,766	5,275	5,424	円/基		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①半田市商店街連合会加盟組合・発展会数	実績値	7	7	7	団体
			目標値	7	7	7	
			実績値				
			目標値				
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある
	事業の評価・課題	B					
		各種商工業団体への補助金の精査を行い、適切に執行することができた。電灯料補助については地元商工業の支援・商店街連合会加盟組合・発展会の維持に繋がっているだけでなく、商店街団体の負担軽減にも繋がっている。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持				
			地元商工業者の保護と継続的な発展のため、引き続き必要性を精査しつつ適切な執行に努める。				
		令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①半田市商店街連合会加盟組合・発展会数	7	団体		